

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 3月25日

事業所名 児童デイサービス ゆめさきクラブ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である			○	・好みの空間に対応できるようパーテーション設置等。	・プライベートな空間が確保できる
	2 職員の配置数は適切である	○				・活動の内容(学習やスポーツ等)に合わせて職員が対応している。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○			・現在の所、身体障害児受け入れなし。 今後、対応児が安全に活動できるよう改善策検討。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			2週毎に法人内各事業所統括が会議を実施。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○			・送迎時に、口頭にて。 今後アンケート等にて意向の聴き取りを行いたい。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している			○		・今後、おたよりやホームページ等によって公開。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		・適切な第三者選定し、評価を行い業務改善につなげたい。
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			・内容共有し、日々の業務にいかしている。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している		○			・今後、2者面談を行うことで利用児から適切なニーズを聴き活動プログラムに反映したい。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している			○		・医療機関等専門的な機関からのご意見を踏まえてアセスメントツールを作成していく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・毎月活動プログラム会議を開催している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○				・利用者の意見を踏まえて企画している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○				・毎月、目標を設定し達成の為に意識して日々の支援を行う。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			・児童が落ち着いた環境で活動出来るよう状況に応じて対応。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			・毎朝のミーティングにて実施。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			・毎朝のミーティングにて実施。緊急性のある事案は、その都度。	
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			・翌朝までに記録し、検証実施。		
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			・計画相談員と連携し話し合いを持っている。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			・利用児の意見も反映しながら活動を考慮。		

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			・デイの状況を細かく伝えるよう気を配っている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○			・現在の所受け入れはしておりません。 ・今後、必要に応じて対応していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○			・利用児の年代が小学生高学年の為、小学校での情報共有が主。 ・今後、必要あれば行ってきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○				・個人情報に留意している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○			・積極的に研修に参加
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○				・法人内学生との交流。 ・自治会ボランティア参加。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○			・今後、積極的に参加し情報強化したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				・モニタリング時、送迎時にアセスメント実施。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○		・保護者会等を開催し、気軽に集まれる機会を設置し話し合える場を持ちたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				・利用開始前、本契約時実施。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○			・保護者間の信頼関係構築に努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				・窓口を常に整備し、苦情があった際速やかな処置を取る。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				・毎月の活動を写真で分かりやすく発信。
	35	個人情報に十分注意している	○				・関わる職員へ周知。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				・個々の状況に応じ視覚化、筆談等対応。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			・積極的に事業所での活動を発信し、地域に根差した事業所運営を目指していきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○			・法人内で整備後、職員や保護者へ周知していく。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			・定期的(6ヶ月毎)実施。	・消防署での応急処置講座に参加し、職員が救急対応出来る知識を身に付けたい。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○					
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○				・身体拘束の内容について、法人内で話し合い保護者へ丁寧に説明していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○				・指示書については、必要性について説明した上で、保護者と協議し、決定していきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○				・事例について職員間で共有しているが、文書化していない為、今後作成していく。